

令和8年10月8日

岐阜県自然共生工法研究会員 各位

岐阜県自然共生工法研究会 会長 藤田裕一郎

**自然共生工法研究会「最近の話題」についての勉強会
「最新のAI技術の動向と地域社会での活用事例」勉強会のご案内**

会員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度の「最近の話題」についての勉強会は、急速に普及が進む生成AIも含まれるAI技術は「自然共生工法」の分野へどのように応用できるかという視点から企画されました。企画の趣旨は、木呂子人材育成部会長による「開催の趣旨」（別紙）に詳述されています。

ご多忙の折とは存じますが、趣旨並びに下記の開催要領をご高覧の上、是非ともご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 令和8年11月11日(水) 9:30～12:00
- 2 会 場 岐阜大学 航空宇宙生産技術開発センター 1F サイバーオープンスペース(案内図参照)
- 3 講 師 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学人工知能研究推進センター長 加藤邦人教授
- 4 申 込 方法 申込書に必要事項を記入し、メール（FAXでも可）にて申し込んでください。
締切 令和8年11月4日（水）
- 5 募集人数 20名（先着順・定員に達した時点で締め切らせて頂きます。）
- 6 申 込 先 〒503-0807 大垣市今宿6-52-18 ワークショップ24 4階 ソフトピアジャパンエリア内
(公財)岐阜県建設研究センター内 岐阜県自然共生工法研究会 藤原
TEL・FAX: (0584) 81-1340 E-mail: gifu-shizen@deluxe.ocn.ne.jp

プログラム

9:00 ～ 9:30 受付 (会場 岐阜大学 航空宇宙生産技術開発センター 1F サイバーオープンスペース)

9:30 ～ 9:35 開会挨拶 自然共生工法研究会 人材育成部会 木呂子豊彦

9:35 ～ 10:05 同センター内「高性能計算機室」「生産技術共同実験研究室」等の見学

10:05 ～ 10:10 休憩

10:10 ～ 11:40 講義「最新のAI技術の動向と地域社会での活用事例」
岐阜大学人工知能研究推進センター長 加藤邦人教授

11:40 ～ 11:55 「自然共生工法とAI」の視点紹介と質問・意見交換 (進行:木呂子豊彦)

11:55 ～ 12:00 閉会挨拶 自然共生工法研究会 事務局 小池貴久

12:00 解散

開催の趣旨

近年、生成AIをはじめとする人工知能技術は、行政、建設、防災、インフラ維持管理など、私たちの業務領域に急速に浸透しています。地域産業でもDXの潮流が広がり、現場判断の高度化、設計の効率化、維持管理の精緻化など、AIは実務に直結する基盤技術として存在感を高めています。自然共生工法研究会が掲げる「自然と人間の共生を基盤とした地域づくり」においても、AIは複雑な環境情報を統合し、判断の質を高める重要な技術です。流域の安全性向上、自然環境の保全、地域インフラの持続可能性を考える上で、AIは現場の課題解決を支える強力な手段となり得ます。

一方、気候変動による災害の激甚化や人口構造の変化など、現代社会は不確実性の高い時代を迎えています。この状況で注目されるのが、自然の復元力にも通じる「分散型(地域)レジリエンス」の考え方です。機能や資源を地域に分散させ、しなやかに回復し持続する力を備えるという発想であり、社会基盤技術においては、通信に依存せず現場で判断する「エッジAI」や、環境変化に強い「ロバストセンシング」がその具体的な技術基盤となります。

こうした背景を踏まえ、本研究会では岐阜大学人工知能研究推進センター長・加藤邦人教授をお迎えし、急速に発展するAI技術の動向と地域社会での活用事例についてご講演いただきます。さらに今回は、岐阜大学 航空宇宙生産技術開発センター(IPTeCA)を訪問し、センター内の設備を見学した上で、同施設内の2Fセミナー室にて講義を受ける特別構成としました。IPTeCAは2020年より運用を開始した研究拠点で、AIとロボットの両分野を備えた国内でも屈指の設備を有しています。

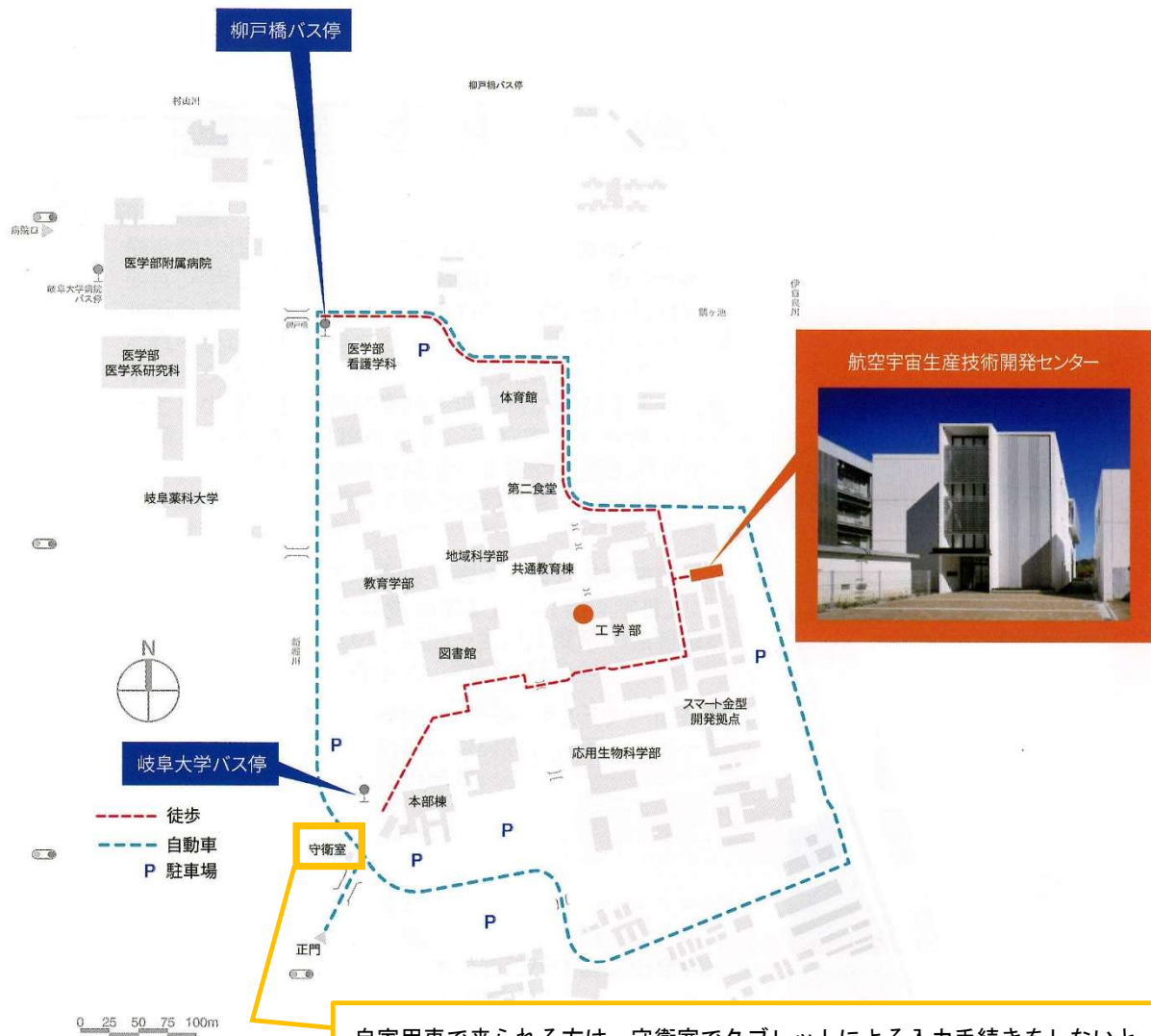
- 高性能計算機室(サイバー分野：AI)：深層学習・画像処理・マルチモーダルAIなど高度な研究を行うGPU計算設備を備え、NVIDIA DGX H100を中心とした国内大学でも屈指の演算環境を整備
- 生産技術共同実験研究室(フィジカル分野：ロボット)：高度加工・組付けを担うロボット研究拠点、企業との共同実証が可能なオープンラボ、熟練技能のロボット化を目指す研究群ハブ

これらの設備は、災害や自然共生工法の現場で求められる「その場で判断するAI」「環境変化に強いセンシング」とも関連があります。実物のロボットやAI設備を目の前で見学し、その直後に専門家の講義を受けられる機会は、本研究会にとって大きな魅力であり、他では得難い学びの場となるはずです。本勉強会が、会員の皆さまにとって自然共生工法の未来を展望する新たな視座となり、次なる技術展開への一助となれば幸いです。

(文責： 木呂子豊彦人材育成部会長)

案内図

センターまでのルートガイド（岐阜大学構内）



所在地

岐阜大学 柳戸キャンパス構内
岐阜バス「岐阜大学」バス停 下車 徒歩5分、「柳戸橋」バス停 下車 徒歩10分

岐阜大学までのアクセス

JR岐阜駅/名鉄岐阜駅から大学までは約7kmあります。20分間隔でバスが運行しており、所要時間は30～40分です。朝の時間帯には直行バスが5～7分間隔で、清流ライナーや普通を加えると3分間隔で運行しています。

「最近の話題」についての勉強会



「最新の AI 技術の動向と地域社会での活用事例」申込書



岐阜県自然共生工法研究会 宛

FAX 0584-81-1340

E-mail gifu-shizen@deluxe.ocn.ne.jp

【申込締切】令和8年11月4日（水）まで

※法人会員の場合は、1法人あたり2名までといたします。

個人会員・法人会員（法人名 _____）

（必ず上のいずれかに○をつけてください。）

フリカナ 氏 名		本研究会主催勉強会への参加経験確認 (○をつけてください。)
		1.過去に植物の勉強会への参加経験あり 2.過去に魚類の勉強会への参加経験あり 3.過去に「最近の話題」勉強会への参加経験あり 4.初めての参加
勤務先		

連絡先	住所	〒 _____
	電話	_____
	FAX	_____
	E-mail	_____

※1 当日開催有無等の連絡のためにも必要となります。確実に連絡のとれる連絡先をご記入ください。

※2 法人で複数申込みを行なう場合でも、必ず申込みは1人1枚づつ、ご記入下さい。

- 本勉強会では、岐阜県自然工法管理士の更新に必要な単位として2単位を取得することができます。
- 本勉強会は、CPDSの登録申請を予定しています。ただし、本勉強会の登録講習対象の可否、及び可となった場合のユニット数の最終的な判断は、（一社）全国土木施工管理技士会連合会が行いますので、あらかじめご承知おきください。（対象講習については、同連合会ホームページでご確認ください。）